

学術雑誌論文の 即時オープンアクセス化が始まります！

豊橋技術科学大学機関リポジトリによる論文公開支援について

オープンサイエンス 広報資料

豊橋技術科学大学附属図書館 2025.3

オープンサイエンス 広報資料

「学術雑誌論文の即時オープンアクセス化が始まります！」
豊橋技術科学大学機関リポジトリによる公開支援について

図書館では、オープンアクセスについての支援を実施しています。
そのうちの1つ、機関リポジトリによる論文公開支援について、この資料では説明いたします。

オープンアクセス（Open Access, OA）とは

電子コンテンツに無料でアクセスして利用できることを指し、ほとんどの場合、研究、教育、そのほかの目的で自由に利用できる。

・2024年9月 オープンアクセスポリシー、研究データ管理・公開ポリシーを策定

- ・[豊橋技術科学大学オープンアクセスポリシー\(pdf\)](#) [103KB]
- ・[豊橋技術科学大学オープンアクセスポリシーの解説・補足\(pdf\)](#)[177KB]
- ・[豊橋技術科学大学研究データ管理・公開ポリシー\(pdf\)](#)[56KB]
- ・[豊橋技術科学大学研究データ管理・公開ポリシー解説・補足\(pdf\)](#)[338KB]

本学に在籍する教職員（以下「教職員」という。）が、出版社、学協会、学内部局等が発行する学術雑誌等に掲載された研究成果（以下「研究成果」という。）を、豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ（以下「機関リポジトリ」という。）、又は、その他当該教職員が選択する方法によって公開する。（豊橋技術科学大学オープンアクセスポリシー より抜粋）

まず、論文著者の方は既にご存じかと思いますが、「オープンアクセス」とは何かについて説明します。

「オープンアクセス Open Access (OA オーエー と略されます)」とは、電子コンテンツに無料でアクセスして利用できることを指し、ほとんどの場合、研究、教育、そのほかの目的で自由に利用できます。

2024年9月に本学では、オープンアクセスポリシー、研究データ管理・公開ポリシーを策定しました。

オープンアクセスポリシーでは、

「本学に在籍する教職員（以下「教職員」という。）が、出版社、学協会、学内部局等が発行する学術雑誌等に掲載された研究成果（以下「研究成果」という。）を、豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ（以下「機関リポジトリ」という。）、又は、その他当該教職員が選択する方法によって公開する。」としています。

- ・[豊橋技術科学大学オープンアクセスポリシー\(pdf\)](#) [103KB]
- ・[豊橋技術科学大学オープンアクセスポリシーの解説・補足\(pdf\)](#)[177KB]
- ・[豊橋技術科学大学研究データ管理・公開ポリシー\(pdf\)](#)[56KB]
- ・[豊橋技術科学大学研究データ管理・公開ポリシー解説・補足\(pdf\)](#)[338KB]

研究データ管理基盤の整備も進めています。

公的資金による助成を受けた研究成果論文の即時OA義務化の基本方針発表

2025年度新規公募分でこちらの助成を受けた査読済みの論文は、学術誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等への掲載など、即時OA化を義務づける方針が示されています。

- ・対象の競争的研究費を使用
- ・査読付き
- ・電子ジャーナルに掲載

↓
即時OA義務化！

JSPS 科学研究費助成事業
JST 戦略的創造研究推進事業
AMED 戦略的創造研究推進事業
JST 創発的研究支援事業

(参照) [ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [科学技術・イノベーション](#) > [研究DX](#)

- ・内閣府 [「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」](#) (pdf)
- ・ // [実施にあたっての具体的方策](#) (pdf)
- ・ // [FAQ](#) (pdf)



また、世界的なオープンサイエンスの推進動向を踏まえ、日本においても

統合イノベーション戦略推進会議にて [「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」](#)が策定されました。

まず対象となっているのは、

科学研究費助成事業・戦略的創造研究推進事業・戦略的創造研究推進事業（革新的先端研究開発支援事業）・創発的研究支援事業 です。

2025年度新規公募分でこちらの助成を受けた査読済みの論文は、学術誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等への掲載など、即時OA化を義務づける方針が示されています。

(参照)

- ・内閣府 [「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」](#) (pdf)
[「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」](#) の実施にあたっての具体的方策 (pdf)

OAの実現手段として、セルフアーカイブ（グリーン・ロード）と
OA論文出版（ゴールド・ロード）の2つがある。

Green OA

セルフアーカイビング … 著者支払なし・大学のリポジトリも利用可

本学機関リポジトリ 著者最終稿などを公開

分野リポジトリ・プレプリントサーバ ArXiv, bioRxivなど

Gold OA

APC支払いによりOA論文出版 … 著者支払あり 大学の支援実施

フルOAジャーナルで出版・ハイブリッドジャーナルでOAオプションを選択してOAで出版

OAの実現手段として、「Green OA」セルフアーカイブ（グリーン・ロード）と
「Gold OA」OA論文出版（ゴールド・ロード）の2つがあります。

セルフアーカイブは、機関リポジトリ等に対して論文の執筆者が自著論文を登録するものです。

OA論文出版は、論文の執筆者が論文出版加工料（APC）を出版社に支払うことにより、オンラインで誰でも

無料で利用できる出版方法です。

購読雑誌掲載論文ですが、出版社サイトでライセンス付与等なく無料公開されているものはブロンズOAと呼ばれます。

また、ダイヤモンドOAと呼ばれるものもあります。

[<用語> JUSTICE 電子資料実務必携 第2版 JUSTICE 2024.3より justice-companion 2ed_public.pdf](#)

機関リポジトリ画面

Characterization of co-fired sodium-ion conductive Na₂Ni₂TeO₆ and Na₂Zn₂TeO₆ with honeycomb layer structure

https://repo.lib.tut.ac.jp/records/2000156

名前 / ファイル	ライセンス	アクション
h24058440-0010-e30691.pdf (6.5 MB)		ダウンロード

160

Views: total

Views	
AU	2
CA	1
CN	11
DE	4
GB	2
JP	33
US	107

海外からのアクセス

Green OA の例

本文 誰でも閲覧可能

Contents lists available at ScienceDirect

Heliyon

journal homepage: www.elsevier.com/locate/heliyon

Research article

Characterization of co-fired sodium-ion conductive Na₂Ni₂TeO₆ and Na₂Zn₂TeO₆ with honeycomb layer structure

Kazuki Yamamoto, Yuki Ono, Ryoji Inada

Department of Chemical and Electronic Information Engineering, Toyohashi University of Technology, 1-1 Hibarigaku, Tempaku-cho, Toyohashi, Aichi, 441-8580, Japan

ARTICLE INFO ABSTRACT

Keywords: Honeycomb layered oxide; Co-firing; Sodium ion conductivity; Solid-state batteries

We investigated the reactivity of P2-type honeycomb layered oxides Na₂Ni₂TeO₆ (NNTO) and Na₂Zn₂TeO₆ (NZTO) co-fired at the temperature from 500 °C to 800 °C. From X-ray diffraction measurements, it was found that the reaction between NNTO and NZTO is irreversible at the temperature below 700 °C. However, when annealed at 800 °C, they formed the solid-solution phase without any secondary phases. The NNTO and NZTO composite pellets co-fired at 800 °C showed sodium ion conductivity well above 10⁻⁵ S cm⁻¹ at room temperature, indicating that the solid-solution phase of NNTO and NZTO has good ionic conductivity. A maximum room-temperature conductivity of 7.4 × 10⁻⁵ S cm⁻¹ was confirmed at the mixing ratio NNTO/NZTO = 0.5 : 0.5. These results can be applied to the fabrication of all-solid-state batteries using NNTO as the cathode active material and NZTO as the solid electrolyte via a simple co-firing process.

1. Introduction

Google Scholar でも文献ヒット!

[PDF] Characterization of co-fired sodium-ion conductive Na₂Ni₂TeO₆ and Na₂Zn₂TeO₆ with honeycomb layer structure

K Yamamoto, Y Ono, R Inada - repo.lib.tut.ac.jp

We investigated the reactivity of P2-type honeycomb layered oxides Na₂Ni₂TeO₆ (NNTO) and Na₂Zn₂TeO₆ (NZTO) co-fired at the temperature from 500- C to 800- C. From X-ray ...

[PDF] tut.ac.jp

こちらは、「Green OA」、機関リポジトリでセルフアーカイブした例です。

本学の教員の方から登録申請いただき、機関リポジトリで公開した論文です。本文は、出版社が登録許可したバージョンの本文を登録して、公開しています。ダウンロードすると、本文が閲覧できます。

機関リポジトリに直接アクセスして閲覧するだけでなく、機関リポジトリのデータはハーベストされ、Google ScholarやCiNiiなどのサイトでも検索可能になります。表示されている pdf の表示は、リポジトリに登録している本文データへリンクしています。

無料で広くインターネット上に公開することにより、高額な雑誌を購読しなくても論文内容を閲覧することが可能となり、世界中のより多くの研究者の目に触れ、被引用回数が増えることが見込まれます。実際、利用統計を見ると、海外からアクセスされていることがわかります。

Gold OA の例

出版社論文詳細画面

The screenshot shows the article page for "The effect of posture on virtual walking experience using foot vibrations" on the Scientific Reports website. The article is marked as "Open access". A red box highlights the "Download PDF" button, with a red arrow pointing to a callout box that says "本文 誰でも閲覧可能" (Full text, accessible to everyone). Another red box highlights the "PDF nature.com" link in the Google Scholar snippet, with a red arrow pointing to the same callout box. A yellow box at the top left contains the text "Gold OA の例". A yellow box at the top center contains the text "出版社論文詳細画面". A yellow box at the bottom center contains the text "Google Scholar でも文献ヒット!". The article title is "The effect of posture on virtual walking experience using foot vibrations" by Junya Nakamura and Michiteru Kitazaki. The article number is 19366 (2024) and it has 1027 accesses. The abstract text is partially visible: "The virtual walking systems that do not involve physical movement of the legs has the advantage of being able to be experienced while seated or supine. The sensation of...".

こちらは「Gold OA」、OA論文出版の例です。

論文出版時にAPC(Article Processing Charge)を支払うことによりオープンアクセスとすることを

GoldOAといいます。

オープンアクセスの論文のみを掲載しているフルゴールドOA誌で論文出版する場合や、Hybrid誌と言って、契約者や購入者でないと通常は本文が利用できないのですが、著者がオプションでAPCを支払う

ことによりオープンアクセスで論文を出版することができる雑誌があります。

この事例、雑誌Scientific reports は、フルゴールドOA誌です。

著者がAPCを支払い、OAで出版したことにより、世界中のだれでも本文が閲覧可能になっています。

こちら、Google Scholar やCiNiiなどでも文献は検索でき、pdfの表示から論文の本文へリンクしています。

Green OA

リポジトリサイトで論文公開の支援 豊橋技術科学大学機関リポジトリ <https://repo.lib.tut.ac.jp/>

本学で生産された学術研究成果（雑誌論文など）を収集，電子的に蓄積・保存し，インターネットを通じて無償で広く世界に向けて公開する，知の保存書庫であり，情報発信サービスです。本学では，NII（国立情報学研究所）とJPCOARの提供するJAIRO Cloud（ジャイロクラウド）上に学術研究成果のデータを保存し，情報を発信しています。

（参照）「本学学術機関リポジトリ運用指針」 <https://lib.tut.ac.jp/repo/shishin.pdf>

それでは，Green OA の方法のひとつ，大学の機関リポジトリでの公開方法について説明します。

本学の機関リポジトリは，豊橋技術科学大学機関リポジトリと言い，本学で生産された学術研究成果（雑誌論文など）を収集，電子的に蓄積・保存し，インターネットを通じて無償で広く世界に向けて公開する，知の保存書庫であり，情報発信サービスです。

本学では，NII（国立情報学研究所）とJPCOARの提供するJAIRO Cloud（ジャイロクラウド）上に学術研究成果のデータを保存し，情報を発信しています。

URL <https://repo.lib.tut.ac.jp/>

2013年2月に正式公開を開始，現在は博士論文，紀要「雲雀野」掲載論文，登録申請いただいた学術雑誌論文等の登録を順次行っています。

登録可能な著作物は，本学に在籍している，または在籍したことのある教職員・大学院生等の作成した学術研究成果です。

・学術研究成果の種類は，学術雑誌論文・紀要論文・学位論文・一般雑誌記事・会議発表論文・会議発表用資料・図書・

研究報告書・プレプリント・教材・データ・データベース・ソフトウェアなど，あらゆる種類のものを対象としています。

（参照）「本学学術機関リポジトリ運用指針」 <https://lib.tut.ac.jp/repo/shishin.pdf>



(参照) リーフレット

<https://lib.tut.ac.jp/oshirase/repo4.pdf>

- ① 著者
登録申請・共著者の同意確認
申請フォーム or メール
- ↓
- ② 図書館
出版社ポリシー確認・
論文情報・本文を登録
- ↓
- ③ リポジトリ
コンテンツを保管
公開・情報発信



リーフレット

本学のリポジトリについては、こちらのリーフレットもご参照ください。
登録申請方法は、申請フォーム、あるいはメールで受け付けています。
もちろん登録料は無料です。

出版社のポリシーは、図書館でも1件ずつ確認し、論文情報（雑誌名・著者名・雑誌名・巻・号。ページ数・アブストラクト・CCBY情報など）と、論文本文を登録しています。論文本文は、出版社ポリシーに記載のversion（出版社版や著者最終稿など）を登録します。エンバーゴ（登録保留期間）があれば、その期間経過後に、本文を公開します。

リポジトリサイトに、コンテンツを保管、インターネット上で無料公開します。

豊橋技術科学大学 機関リポジトリ 登録申請

教育・研究成果について、「豊橋技術科学大学学術機関リポジトリ運用指針」に従って、豊橋技術科学大学学術機関リポジトリに登録申請し、この登録作業に必要な範囲で、当該論文を複製することを許諾します。

@tut.jp アカウントを切り替える

ファイルをアップロードしてこのフォームを送信すると、Google アカウントに関連付けられている名前、メールアドレス、および写真が記録されます

* 必須の質問です

メール*

返信に表示するメールアドレスとして
する

@tut.jp を記録

機関リポジトリ登録を希望しますか*

登録した教育・研究成果はインターネット上で無償公開となります。

- はい
 いいえ

次へ

フォームをクリア



申請フォーム日本語版

<https://forms.gle/3zZAb3WMDKimxcXJA>

申請フォーム英語版

<https://forms.gle/mcTNndNFZehTHAy6>

こちらは、リポジトリの登録申請フォームです。

日本語版フォーム <https://forms.gle/3zZAb3WMDKimxcXJA>

英語版フォーム <https://forms.gle/mcTNndNFZehTHAy6>

申請フォーム画面を順に見ていきましょう。

出版社の著作権ポリシーの確認

外国雑誌の場合

Search Open Policy Finder <https://openpolicyfinder.jisc.ac.uk/search>

国内雑誌の場合

SCPJ <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/216>

The image shows two screenshots side-by-side. The left screenshot is from the Search Open Policy Finder website, showing the search results for 'Heliyon'. It displays various options for 'Option with no embargo & CC BY-NC-ND licence', including 'Accepted' and 'Submitted' versions. The right screenshot is from the SCPJ website, showing a table of journal records. The table has columns for 'Journal_ID', 'Journal_Title', 'Journal_Title_Alias', and 'Journal_Title_En'. The table lists various journals such as '近代文化', '児童と発達研究', '児童研究', '児童学雑誌', 'Journal of Light & Visual Environment', '日本工心協会誌', '日本神経学会誌 (日本神経学会誌)', '日本看護学会誌 NAVIGATION', '産力研報', '日本看護学会誌', '小児保健研究', and '精神打書'.

本文データのアップロードが必要ですので、準備してから入力してください。
どのVersionの本文データが登録可能かなど、著作権ポリシーは、各出版社や学術団体のホームページや

外国雑誌であれば、Search Open Policy Finder

<https://openpolicyfinder.jisc.ac.uk/search>

のサイトなどで確認できます。

日本の雑誌は、SCPJ <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/216>

というサイトで確認ができます。

不明な場合は、著者最終稿を送付してください。

図書館で、上記サイトや各出版社等に確認して登録します。

豊橋技術科学大学 機関リポジトリ 登録申請

@tut.jp アカウントを切り替える

ファイルをアップロードしてこのフォームを送信すると、Google アカウントに関連付けられている名前、メールアドレス、および写真が記録されます

著作権について伺います

登録希望論文の著作権はどちらに帰属していますか

本人

共著者または原著者

出版社または学術団体

選択を解除

戻る 次へ フォームをクリア

豊橋技術科学大学 機関リポジトリ 登録申請

@tut.jp アカウントを切り替える 下書きを保存しました

ファイルをアップロードしてこのフォームを送信すると、Google アカウントに関連付けられている名前、メールアドレス、および写真が記録されます

複数の論文を一度に申請することが可能です

複数の論文を登録希望しますか
※最大5本アップロード可能です

はい

いいえ

選択を解除

戻る 次へ フォームをクリア

著作権の帰属者を選択してください。

著作権が本人または共著者にある場合は、共著者の許諾をあらかじめ得てから送付をお願いします。

著作権が出版社や学会にある場合は、共著者の許諾は不要です。

複数件同時に申請する場合は、はいを選択してください。複数入力用の画面になります。

豊橋技術科学大学 機関リポジトリ 登録申請

takeuchi.sachiko.pn@tut.jp [アカウントを切り替える](#)

ファイルをアップロードしてこのフォームを送信すると、Google アカウントに関連付けられている名前、メールアドレス、および写真が記録されます

登録内容の入力 (1論文)

氏名

研究成果情報
論文のURL(DOI) を貼り付けてください

公開希望日
希望がない(即時)場合はフォーム入力日を選択してください

日付

yyyy/mm/dd

論文のファイルを添付してください

サポートされているファイルを1個アップロードします(PDF、またはdocument)。最大ファイルサイズは10MBです。

📎 ファイルを追加

戻る
送信
フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

論文の情報を入力してください。

雑誌名・出版社名・巻号ページ数情報などは、論文のURL (DOI) から確認します。
論文のファイルを添付して、送信してください。これで申請完了です。

受付したメールを情報図書係からお送りいたします。

登録時に不明な点があれば、入力していただいたメールに御連絡させていただきます。

また、リポジトリ登録完了時にも、お知らせします。

フォームで送信できない場合はメールでの送信も受け付けています

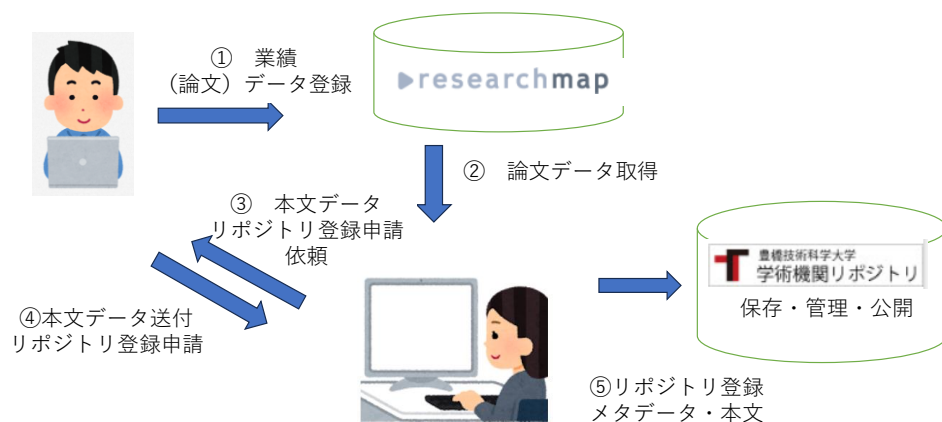
フォームが利用できない場合は、リポジトリのページ <https://repo.lib.tut.ac.jp/page/31> の「登録申請書様式」の項目から「登録申請書」をダウンロードし、論文の電子ファイルと共にメールでお送りください。

メール送信先 >> tosho@office.tut.ac.jp

The image shows a registration application form from the University of Tsukuba Library. The form is titled "登録申請書" (Registration Application Form) and includes fields for name, email, and contact information. It also contains checkboxes for various options, such as "電子申請" (Electronic Application) and "印刷申請" (Printed Application). The form is designed to be filled out and submitted via email.

申請フォームから送信できない場合は、メールでの送付も受け付けています。その場合は、 <https://repo.lib.tut.ac.jp/page/31> の「登録申請書様式」の項目から「登録申請書」をダウンロードし、論文の電子ファイルと共にメールでお送りください。

researchmap と連携したリポジトリ登録支援も始まります



2025年度より、researchmap と連携したリポジトリへの登録支援も開始します。researchmap へ先生方が文献情報を新規に登録すると、その更新データを図書館では自動取得して、リポジトリへの登録申請依頼のメールを送信する予定です。

Gold OA

APC費用の支援

◆電子ジャーナル機関購読契約（転換契約）による支援

Wiley社・SpringerNature社・Elsevier社

各出版枠本数内についてAPC支援（先着順）

詳細は [オープンアクセス支援](#) [豊橋技術科学大学附属図書館](#)

Wiley の場合のみ、46歳以上のCorresponding Authorは
著者負担金(50,000円/本)を大学へ支払



◆大学による論文出版費用支援（RAC）

2025年度については今後案内

もうひとつのOAの実現手段、Gold OAについて、
大学では、APC費用の支援を行っています。
転換契約による、電子資料契約に含まれる出版枠での支援と、論文出版経費そのものを
支援する支援とがあります。

詳しくは別資料にて説明いたします。

◆問い合わせ先 附属図書館・RAC

openaccess@office.tut.ac.jp

◆オープンサイエンスポータルサイト

学術論文，研究データ管理・公開・利活用
(オープンサイエンス)

<https://www.tut.ac.jp/develop/research/os/>

ご不明な点がございましたら，openaccess@office.tut.ac.jp までお問い合わせください。

大学公式HPに，「学術論文，研究データ管理・公開・利活用（オープンサイエンス）」に関するポータルサイトを公開しています。こちらもご参照ください。